

第52回 札幌支部高等学校テニス選手権大会

兼 第62回 北海道高等学校テニス選手権大会札幌支部予選会

開 催 要 項

- 1 主 催 北海道高等学校体育連盟札幌支部・札幌テニス協会
- 2 主 管 北海道高等学校体育連盟札幌支部テニス専門部
- 3 当 番 校 札幌白陵高等学校
- 4 期 日 令和4年5月16日(月)、17日(火)、18日(水)、19日(木)、[予備日20日(金)]
雨天順延9時00分試合開始予定。ただし、雨天で試合が延びたときは別途対応する。
- 5 開閉会式 開会式は・・・・・・・・・・。閉会式は5月19日(木)の大会最終日を予定。
ただし、閉会式においては参加人数を制限する場合もある。
- 6 会 場 第1日目から第4日目まで、男女とも北海道立野幌総合運動公園テニスコート
- 7 参加資格
 - ① 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校に在籍し、平成15年(2003年)4月2日以降に生まれた者であること。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - ② 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、北海道高等学校体育連盟札幌支部長の許可があればこの限りでない。
 - ③ 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け学校長が本大会の参加を認めた者とする。
 - ④ 全日制と定時制の混合チーム及び混合ダブルスは認めない。
 - ⑤ 主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入の意思のある者。
- 8 申込方法 所定の様式の電子メールを5月3日(火)から6日(金)12時までにテニス専門部ホームページの案内に従い送ること。メールの申し込みをもって正式な受付とする。締め切りを過ぎたあとの変更は認められない(申し込み用紙はホームページより取り出して使用)。また、職印のある申込書は監督会議の際に提出すること。
【北海道高体連札幌支部テニス専門部ホームページアドレス】<http://tennisen.link/>
- 9 参 加 料 登録者1名につき500円を、監督主将会議の会場受付にて提出すること。
- 10 使用球 男女共ウィルソン・USオープン・エキストラ・デューティ。団体の部用1チーム(男・女)各6個、個人の部用ダブルス1組・シングルス1名につき各2個を使用する。団体の部については大会当日持参し、試合の際各学校でボールを持ち寄り、試合終了後勝った学校が未使用球を、負けた学校が使用球を持ち帰る。個人の部については監督会議の会場受付にて提出すること。(男女ともフルエントリーの場合は主将会議時に20個)
- 11 団体の部チーム編成
 - ① 監督(複数名可)、外部指導者、マネージャー1名、及び選手は4名以上5名以内とし、実力順に登録する。
 - ② 監督は当該学校の教職員(教諭、助教諭、常勤講師、実習助手)とする。
 - ③ 外部指導者(コーチ)は非常勤講師、スポーツクラブ指導者、当該校の卒業生・保護者等で学校長が認めた者で、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に加入している者に限る。一人の外部指導者が複数校の外部指導者として申請することはできない。外部コーチの申請は、別紙「外部コーチ申請書」を提出すること(年度初めに提出している場合は改めて提出する必要はない)。
- 12 競技規則 国際テニス連盟(ITF)規則に準ずる。
- 13 競技方法【団体の部】
 - ① ダブルス1組、シングルス2名の対抗トーナメントとし、6ゲーム先取の1セットマッチを原則とする。なお6ゲームスオールの場合はITF方式タイブレーク(7ポイント先取)を採用する。
 - ② シングルスの実力順位でNo.1からNo.5までの5人を登録することができる。ダブルスは5人の中から任意に1組作り、シングルスは残りの3人のうちどの2人が出場してもよいが、登録の順位に従ってオーダーを提出しなければならない。シングルスとダブルスを同一選手が兼ねることはできない。
 - ③ 試合は、ダブルス→シングルス1→シングルス2の順で行い、勝ち点2をあげたチームを勝ちとする。ただし初回戦に限っては、原則として勝敗が決まっても3試合とも行う。

【個人の部】

- ① ダブルス2組、シングルス3名で実力順に申し込むこと。（団体の部に登録していない者の参加も認める）
- ② ダブルス・シングルスともトーナメント戦とし、6ゲーム先取の1セットマッチで行う。6ゲームズオールの場合は、ITF方式タイプブレイク（7ポイント先取）を採用する。

14 全道大会への出場について

令和4年度全道大会（第62回北海道高等学校テニス選手権大会）は、6月6日から北海道立野幌総合運動公園テニスコートにて開催予定。
詳細は北海道高体連テニス専門部の決定による。

15 監督会議について

令和4年5月11日(水)14時 札幌白陵高等学校
申込用紙の提出、参加料及び大会使用球の受付、組合せ抽選会、諸連絡を行うので、必ず出席すること。

16 その他

- ① 団体の部の登録変更および個人の部の選手変更については、その種目の初日の朝の顧問打合せまでとする。校長印を押した変更届けを提出すること。（様式を問わない）
- ② 審判はSCU方式で行い、原則として前の試合の敗者本人がそれに当たるものとする。
- ③ コートには競技者とシングルスでのボールパーソン以外入ることはできない。ただし団体の部では、登録された監督・外部コーチ（複数面展開においても、ベンチに入れるのはいずれか1名のみ）または選手がベンチに入り、エンドチェンジの際の90秒間に限ってコーチングを行うことができる。
- ④ 団体の部・個人の部とも練習は各サイドのサーブ2本ずつとし、それ以外は認めない。
- ⑤ 各校出場選手の服装はテニスウェアとし、校名入りのマークを腰の見やすい位置に付けること。
- ⑥ ガットマークは禁止する。
- ⑦ 事故・負傷などによる中断は3分以内とし、それ以上に及ぶ場合はレフェリーの判断による。
- ⑧ コールされてから5分以内にコートに入らなければ失格となる場合がある。
※ 試合・審判のある選手は会場を離れてはならない。
- ⑨ 大会は高等学校教育の一貫であることを踏まえていることから、著しく他に影響を与えるような頭髪の染色や華美な装飾品の着用（ピアス・アクセサリー等）は認めない。
- ⑩ 大会における全ての事項についての質疑は引率責任者に限られる。
- ⑪ 新型コロナウイルス感染症に関わり、状況によっては北海道および高体連札幌支部から監督会議の中止、大会競技種目の運営方法について変更や中止の要請もあり得る。変更等がある場合は、メール（部員登録時のメールアドレスへ送信）またはFAX、および、専門部ホームページで周知する。
- ⑫ 各チーム顧問の先生は、大会開催に当たっての感染予防対策に関する留意事項について、大会参加生徒（選手・応援）の保護者にも確実に周知し、参加の同意を得てください。また、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から大会への参加取消や途中退場を求めることがあります。

新型コロナウイルス感染予防対策に関する留意事項

高体連札幌支部テニス専門部

大会参加する各学校の顧問の先生、監督、参加生徒（出場生徒・応援生徒）およびその保者は、この留意事項を十分に確認した上で参加すること。（各校、この留意事項を保護者に渡し、同意書を得ること。） 協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から大会への参加取消や途中退場を求めることがある。

（大会前）

- ① 大会2週間前から「体温チェック一覧表」に記録しておく。引率責任者の先生は部員全員の「体温チェック一覧表」を大会初日に専門部へ提出する。
→ ※**チェックシートは春季大会後2週間のものと一体化しています。**
- ② 【選手が通う学校で感染者が発生した場合】学校の措置が最優先であることを基本に、休校にあった場合は原則その学校は大会を辞退する。休校にならなかった場合でも、選手が感染しているなど、その状況によって判断し、辞退となることもあり得る。
- ③ 【チーム内で感染者が発生した場合】
 - ㊲ 保健所に相談するとともに高体連札幌支部事務局、高体連札幌支部テニス専門部に報告する。下記以外にも様々な事象があることから指導者のみで判断せず、関係各所にアドバイスを受け総合的に判断をする。また、感染者が発生した場合は、高体連札幌支部などの関係団体と協議の上、チームの活動停止、大会出場停止などの判断を下すことがある。
 - ㊳ 指導者及び選手が感染した場合、その本人を活動停止（完全に治癒するまでの期間）とする。
 - ㊴ 指導者及び選手が濃厚接触者として指定された場合、PCR検査か健康観察期間が終わるまでは活動を停止する。
 - ㊵ 指導者及び選手の同居人が濃厚接触者でも、本人が濃厚接触者として指定されず、しかも症状がない場合は活動可能とする。
- ④ 誰が、いつ、どこで感染してもおかしくないという共通認識をもって、偏見などが起こらないように対応すること。感染者や濃厚接触者が出ることで、プライバシーの問題やチーム内での孤立が往々に起こる可能性があり、十分に理解を得られてから活動をする。

（大会移動時）

- ① 公共の交通機関での移動は、換気や密集しないよう十分に気を付ける。
- ② 移動の際は最小限の人数とする。
- ③ 席に余裕がある場合は、できるだけ間隔を空けて座る。
- ④ **マスクを着用する。**
- ⑤ 必要最低限の会話以外は行わない。

（大会会場）

- ① 大会期間中、引率責任者の先生は、引率部員全員分の「大会当日メディカルチェック一覧表」を毎朝専門部へ提出すること。（この提出をもって保護者の同意を得たものとする）
- ② 発熱・咳・倦怠感・咽頭痛・嗅覚味覚の異常がみられる生徒や大会関係者は会場内への立ち入りを禁止する。

- ③ 大会会場での人数制限の関係で、チーム部員と引率顧問および外部コーチ以外が会場に入ることができないことを保護者やテニス関係者等に確実に伝え、理解をしてもらうこと。
- ④ 大会会場内に入出入りする者は、マスクの着用を義務付ける。(熱中症の心配のある場合は、個々の判断でマスク脱着を認めるが、他者との間隔を 2m 以上確保すること。) また、大きな声で会話をしないこと。
- ⑤ 専門部本部前で消毒用アルコールを用意するが、各チームに手洗い用ハンドソープ・消毒用アルコール・除菌シートなどの持参を義務付ける。(来場の生徒へ個々に用意するよう徹底する。)
- ⑥ 野幌総合運動公園テニスコートでの施設利用についてはトイレのみの利用とし、マスク着用を義務付ける。各自、密にならないよう十分に気を付ける。更衣室の利用は原則不可となる。
- ⑦ 食事等は開放空間で行う。近接や向かい合っでの食事は避け、会話は控えること。飲料は自分が用意したもの以外は絶対に飲まないこと。ゴミはすべて各自が持ち帰ること。
- ⑧ 選手への応援は拍手のみとし、大声での声援や声掛けは厳に慎むこと。他者との距離を前後 2m (最低 1m 以上) 以上の間隔を空けて座る。
- ⑨ チームで円陣を組むことは禁止する。ミーティングは密にならないよう配慮し、長時間行わないこと。
- ⑩ 大会役員は、定期的に会場内を巡回する。

(ベンチ及びコート)

- ① ベンチの椅子・審判台等は試合前後に各チームで消毒除菌をする(各自、除菌シート等を持参すること)。
- ② 試合開始時の挨拶、オーダー交換、終了時の挨拶時は、全員マスクを着用し、大声をあげての挨拶を控え、しっかり礼を行う。握手はしないこと。
- ③ コート、ベンチでの咳やくしゃみは腕等で口や鼻を覆う。
- ④ ダブルスで、インプレーでない時間の最小距離はラケットタッチできる程度までとし、会話は必要最小限の内容を短時間で済ませること。
- ⑤ ハイタッチ等接触することを禁止する。
- ⑥ タオルなどは自分のものを使用し、絶対に共用をしないこと。
- ⑦ 審判、ボールパーソンはマスクを着用すること。(熱中症の心配のある場合は、マスク脱着を認める場合もある。)
- ⑧ 試合終了後は、選手、審判は必ず「手洗い(30秒以上)」、「うがい」、「水分補給」を行うこと。

(大会後 2 週間)

- ① 大会後 2 週間は引き続き体温チェックを行い、経過を記録しておく。(状況によっては専門部・関係各所への提出が求められることもある)
- ② 引率顧問・参加生徒が新型コロナウイルス感染症と診断された場合は、すみやかに関係各所(学校長・札幌支部専門部・各会場管理者)に連絡し、濃厚接触者の有無を報告すること。